

## ASM フロントロアアームバーGT

この度は、ASM製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

当社製品を取り付ける前に、本書、製品の取扱説明、および車両のサービスマニュアルをよく読み、各種の注意事項、取り付け方法などを理解してから作業に取り掛かって下さい。製品取扱説明書は、いつでも参照できるように大切に保管して下さい。

製品の装着、使用、およびメンテナンスが正しく行われない場合、いかなる事故があらましても、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。尚、製品の取り付けに関してご不明な点がございましたら、ASMまでお問い合わせ下さい。



品番:ASM-AP100148 ショートタイプ:ASM-AP100155

### 安全上のご注意



**警告**

回避しなければ、死亡または重傷に至る可能性がある、潜在的な危険があることを表しています。



**注意**

回避しなければ、軽度または中程度の人体の傷害に至る可能性がある潜在的危険、または物的損害の発生が予測されるような危険があることを表しています。

### 警告

- ・本製品を取り付ける前に、必ず本取扱説明書及び車両のサービスマニュアルをよく読み、各種注意事項、取り付け方法等を理解してから作業を行なって下さい。
- ・本取扱説明書は、いつでも参照できるように大切に保管して下さい。
- ・感電等による事故を防止するため、作業を始める前にバッテリーのマイナス端子を外し、マイナス端子を絶縁テープ等で養生してまわりに触れないようにして下さい。
- ・作業は2人以上で行なって下さい。
- ・作業は車両のエンジンを停止し、車両を十分冷却してから行なって下さい。
- ・作業は整備工場などのリフト設備の整った場所で、パーキングブレーキをしっかりとかけてイグニッションキーを抜き、車両を固定した状態で行なって下さい。
- ・作業する際は、適切な用具・工具を使用して下さい。

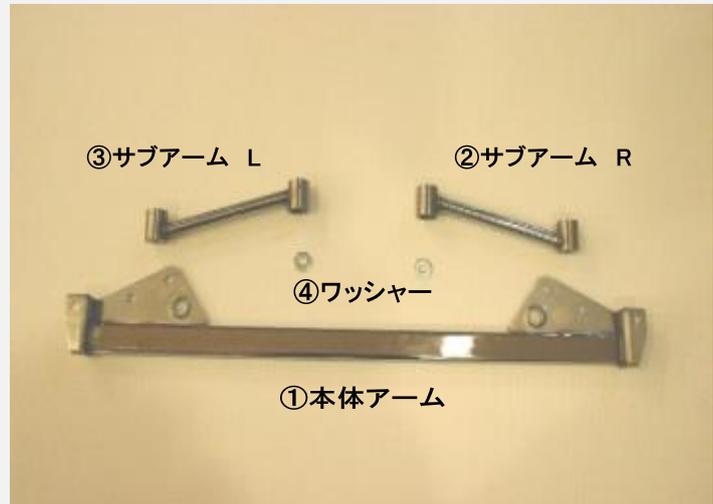
### 注意

- ・作業は安全な場所で、適切な工具を使用して下さい。
- ・本製品の取り付け及び使用は、正常な状態の車両においてのみ行なって下さい。車両に異常のある場合や、正常に使用されていない場合には取り付けしないで下さい。
- ・本製品の取り付け及びメンテナンスは、推奨する方法により、詳細な自動車整備の知識と資格を持った方が行なって下さい。
- ・本取扱説明書に従い、ボルト等をしっかりと締めて下さい。
- ・本製品を取り付ける前には、仮装着をし、不具合がない事を確認して下さい。
- ・本取扱説明書の内容が、本製品をご使用になる国及び地域の法律、規制と異なる場合は、各法律及び規制に従って取り付け、ご使用下さい。
- ・車体の取り付けカ所に異常がある場合は、本製品の取り付けが困難な場合があります。
- ・作業手袋を使用するなどし、安全に作業を行なって下さい。部品や工具などで怪我をする恐れがあります。

## ASM フロントロアアームバーGT

### パーツリスト

- ①本体アーム
- ②サブアームR
- ③サブアームL
- ④ワッシャー×2
- ⑤取扱説明書(本書)



### 【重要】

#### 使用責任

本製品は、モータースポーツ用パーツです。使用方法、場所を誤るとパーツ本体や車輛の破損、最悪の場合は身体に影響が及び事があります。本製品の性格をご理解頂き、使用者ご本人の責任において使用、管理して下さい。

#### 公道走行時

一般公道で使用する際は、点検、整備を確実にいき、道路運送車両法等の関係の注意、法令の定める範囲内で正しくご使用下さい。

### 【ご注意】

1. 取り付ける車両の型式と当製品の適合車種が合致していることをご確認下さい。
2. 当製品を正しく装着し、正常に機能させる為、取り付けは作業に適した自動車整備事業所にご依頼下さい。また作業の方は装着手順に従い正しく装着して下さい。
3. 適合車種以外の車両への装着は絶対に行わないこと。
4. 当製品の加工、改造は絶対に行わないこと。※切断、溶接、加熱等の行為も含む。
5. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタつき等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。
6. 当製品の装着作業はエンジン停止後、マフラーが完全に冷えてから行なうこと。マフラーが高温時の作業は火傷等の事故の原因になり危険です。
7. 当製品を装着後、車両に異常を感じた場合、走行中を問わず、直ちに運転を中止し自動車整備事業所で点検を行なって下さい。
8. 万一、当製品にぐらつき、破損等の不具合が発生した場合は、製品の脱落等の危険を招きますので使用を中止して下さい。
9. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

# 取り付け作業手順

## I エンジンマウントスチフナの取り外し



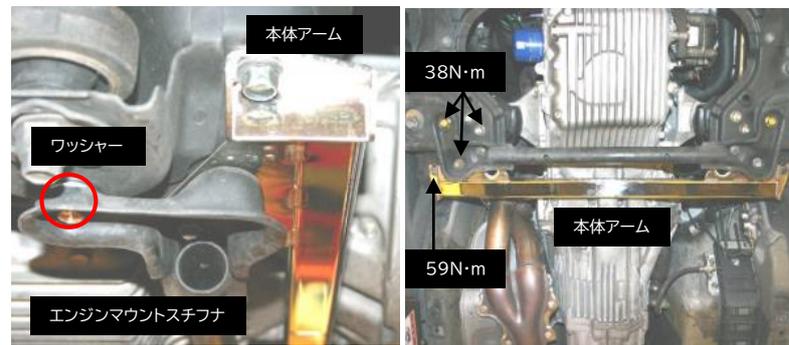
- エンジンマウントスチフナを外します。フロントサブフレームの最後部の12×1.25のフランジボルトを左右外します。
- 本体アームを外したフランジボルトで仮締めします。



**注意**

外したエンジンマウントスチフナ、スチフナのボルト、フランジボルトは再使用しますので、無くさないようご注意ください。

## II 本体アーム取り付け



- エンジンマウントスチフナを、①の本体アームを挟んでサブフレームに取り付けます。その際、○の部分に④のワッシャーを左右各1個入れ、取り付け下さい。

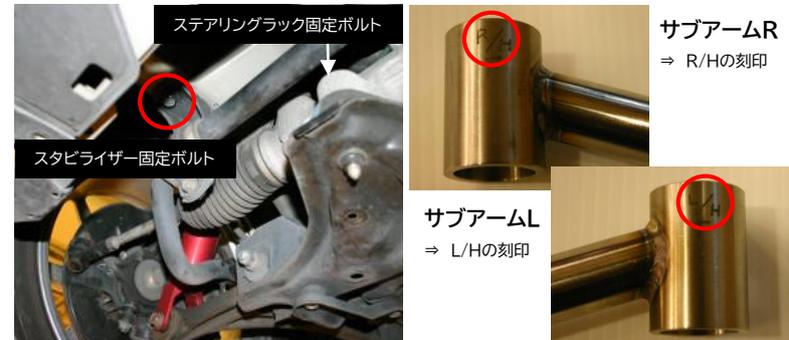
- 本体アーム締め付けトルク
  - ・フランジボルト 12×1.25  
トルク 59N・m(6.0kgf・m)
  - ・エンジンマウントスチフナボルト 10×1.25  
トルク 38N・m(3.9kgf・m)



**注意**

エンジンマウントスチフナをとめていたボルトを使用します。

## III スタビライザー固定ボルト/ステアリングラック固定ボルト取り外し



- スタビライザー固定ボルトを外します。次にステアリングラック固定ボルトを外します。外したボルトは再使用しますので、無くさないようご注意ください。

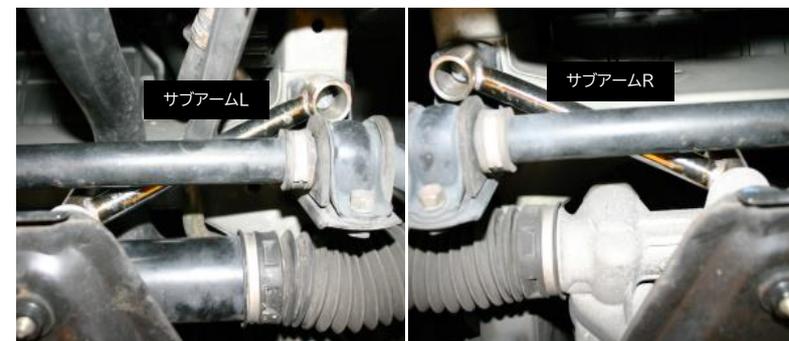
- ②のサブアームRにはR/H、③のサブアームLにはL/Hの刻印がそれぞれ刻まれています。またサブアームには上下があり、刻印側が上です。上下でボルト径が違うので、逆にならないよう、ご注意ください。



**注意**

ショートタイプの場合は、ステアリングラック固定ボルトを外す為にステアリングラックを前にずらす必要があります。

## IV サブアームLR 取り付け



- 外した固定ボルトにサブアームRを共締めします。その際、ステアリングラック固定ボルトの純正ワッシャーは使用しません。

- サブアームLもR同様に、スタビライザー固定ボルトとステアリングラック固定ボルトを外し、共締めします。



**注意**

純正ワッシャーは使用しません。

本製品のお問合せ先



AUTOBACS ASM YOKOHAMA

〒231-0801

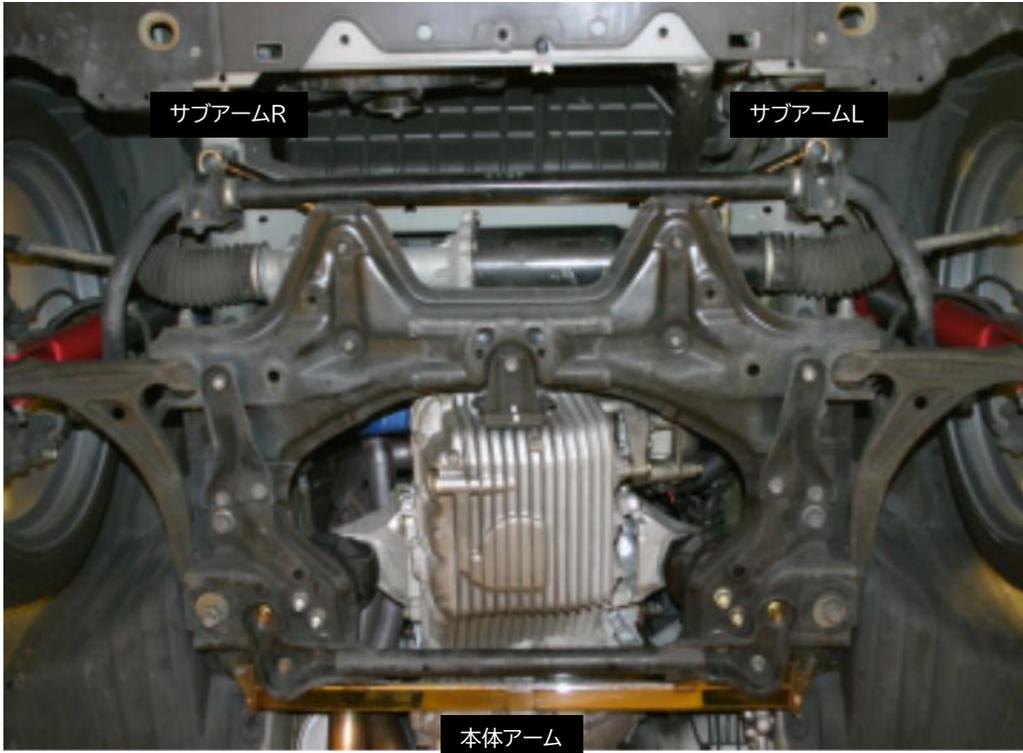
神奈川県横浜市中区新山下2-4-7

TEL:045-629-0905

# 取り付け作業手順

## V 取り付け部の増し締め

- i. 最後に各部ボルトをトルクレンチで規定トルクで締めます。



- スタビライザー固定ボルト

83N・m(8.4kgf・m)

- ステアリングラック固定ボルト 右側

44N・m(4.5kgf・m)

- ステアリングラック固定ボルト 左側

43N・m(4.4kgf・m)

- j. 規定トルクにて各部増し締めし、走行前にガタつきがないかを確認してください。  
適正に取り付けできているかチェックを行ない、作業終了です。

本製品のお問合せ先



AUTOBACS ASM YOKOHAMA

〒231-0801

神奈川県横浜市中区新山下2-4-7

TEL:045-629-0905